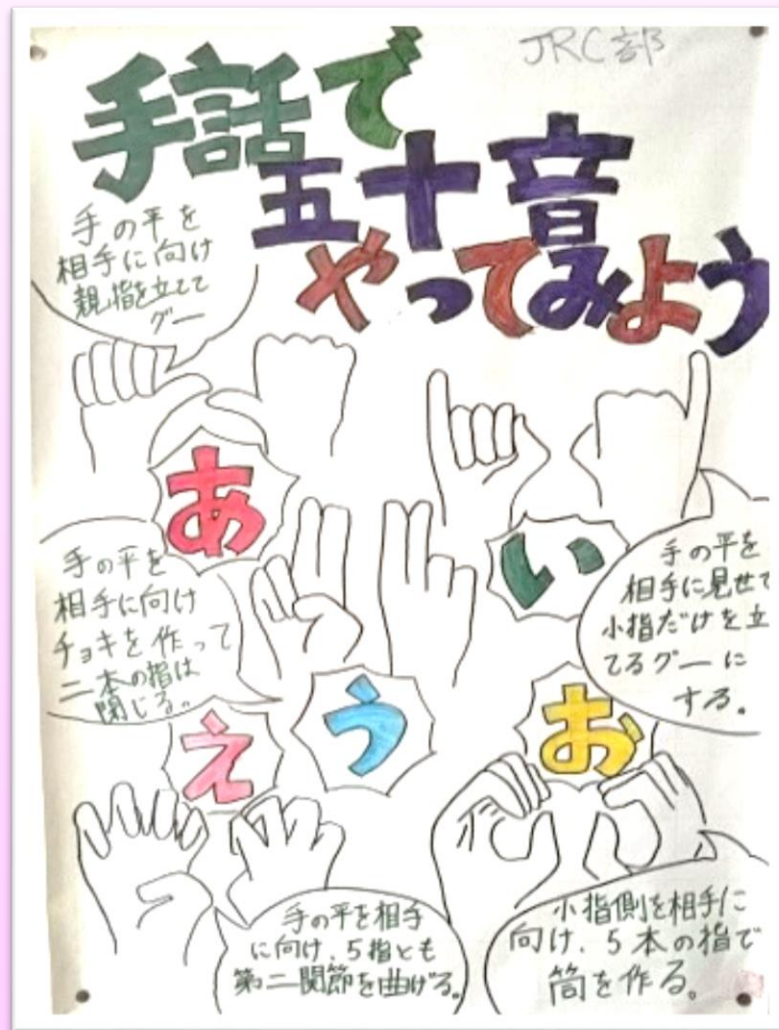
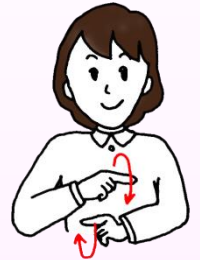


令和元年度県立高等学校・県立中等教育学校における

手話に関する 取組事例集



高校教育課

令和2年11月

はじめに

共生社会の実現を目ざして、平成27年4月1日に神奈川県手話言語条例が施行されました。

この条例は、ろう者とろう者以外の者が、お互いの人権を尊重して意思疎通を行いながら共生することのできる地域社会を実現するため、手話の普及等に関する基本理念を定め、県の責務や県民、事業者の役割を明らかにし、並びに手話の普及に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために定められています。そして、県の責務として手話の普及並びに、手話に関する教育及び学習の振興等を行い、手話を使用しやすい環境を整備すること、また、県民の役割として、手話に対する理解を深めるよう、努めることが求められています。

その趣旨に則って、平成28年度から令和2年度の5年間を見据えて「神奈川県手話推進計画」が策定され、各学校においても、様々な手話に対する理解を深める取組が進んでおります。

本事例集は、令和元年5月の「手話の取組強化月間」等を中心に資料を提供していただいた学校の協力のもとに作成し、今回で5集目になります。

今後も、本事例集等を参考に、各学校の実態に応じて手話に関する積極的な取組の推進をお願いいたします。

令和2年11月

高校教育課

(表紙 茅ヶ崎北陵高等学校 JRC部)

もくじ

☆手話のあいさつ	1
----------	---

☆授業での取組

1 横浜明朋高等学校 社会福祉基礎	2
2 川和高等学校 音楽Ⅰ	2
3 川和高等学校 コミュニケーション英語Ⅱ	3
4 上矢部高等学校 体育	3
5 横浜緑園高等学校 手話Ⅰ	4
6 藤沢総合高等学校 授業開始時及び終了時	4
7 小田原高等学校 生活と福祉	5
8 相模原総合高等学校 学校設定科目「手話」	6
9 綾瀬西高等学校 コミュニケーション技術	6

☆特別活動での取組

1 川崎北高等学校 体育祭	7
2 小田原城北工業高等学校 校門あいさつ運動	8
3 麻溝台高等学校 体育祭、ホームルーム活動	9

☆部活動の取組

1 二俣川看護福祉高等学校 手話部	10
2 藤沢西高等学校 コーラス部・ボランティア部	11

☆図書館の展示

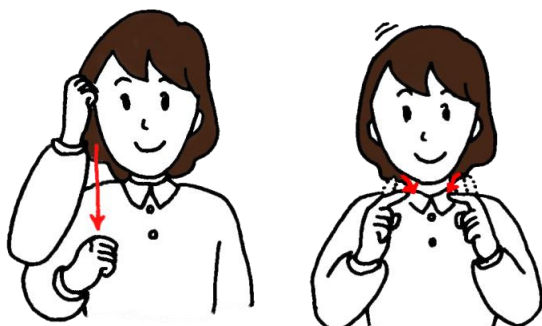
1 新城高等学校 手話コーナーの設置	12
2 三浦初声高等学校 図書委員会の活動	13

☆その他

1 横浜国際高等学校 連絡電子掲示板等	14
2 橋本高等学校 外部講師による手話講習	15

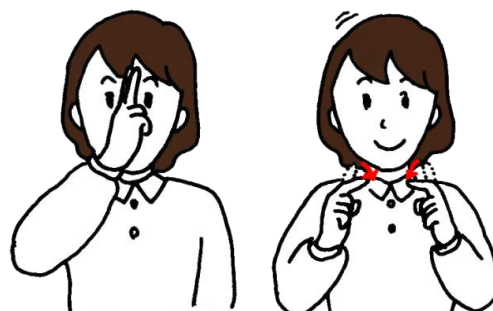
手話のあいさつ

おはよう



「朝」という手話（右手のこぶしを下に下ろす）と「あいさつ」という手話（人差し指を折り曲げる）をあわせます。

こんにちは



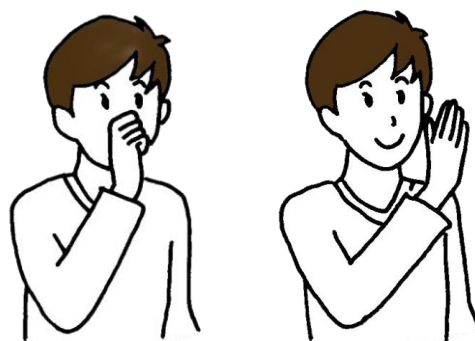
「昼」という手話（指で12時を表す）と「あいさつ」という手話（人差し指を折り曲げる）をあわせます。

ありがとう



左手の手のひらは下向き、右手で一回切るようにします。

よろしくおねがいします



右手のにぎりこぶしを鼻にあて、軽く前に出して、手を開き、前に少し出します。

授業

1

横浜明朋高等学校 社会福祉基礎

- 1 実施回数 2回
- 2 対象者 3年生、4年生の社会福祉基礎選択者
- 3 実施者 担当教員
- 4 実施内容
 - ①手話の挨拶、自己紹介、日常で使う言葉を覚え、実践する。(観点：関心・意欲・態度)
 - ②NHK・E TV特集「手話で生きる子ども達」のDVDを視聴する。(観点：関心・意欲・態度)
 - ③DVDに登場したろう学校に通う生徒や、ろう者の抱える問題、一方で聴者とろう者の違いの無い部分を見つけ、生徒の意見を挙げる。(観点：思考・判断・表現)
 - ④感想シートを書く。(観点：思考・判断・表現)
- 5 生徒の感想等
 - ・ろう学校に通う生徒は学校生活を楽しんでいるようだった。
 - ・高校進学や大学進学でまだ差別があり、自分たちの周りにろう者の友達がいたら、何ができるか考えた。
- 6 成果・課題
 - ・生徒が、簡単な手話を覚えると同時に、ろう者の日常生活に触れ、自分たちと変わらない部分と、社会にある様々な障壁を知り、自分たちがどう関われるかを考える機会になった。
 - ・手話の取組強化月間での授業を受け、11月には港南区聴覚障害者協会、港南区社会福祉協議会のご協力により講師を派遣していただき、地域で生活する聴覚障害者について理解を深めた。

授業

2

川和高等学校 音楽Ⅰ

- 1 実施回数 各クラス1回ずつ計4回
- 2 対象者 1学年音楽選択者
- 3 実施者 濡木一花(芸術科「音楽」教諭)
- 4 実施内容
 - ・重唱の授業で扱っている「少年時代」「涙そうそう」の2曲について、手話を伴って歌唱した。はずかしながらす堂々とやれるような雰囲気づくりをしたところ、友達と教え合ったり分からない所を積極的に知ろうとする姿が見られた。
- 5 生徒の感想等
 - ・はじめは難しかったが、手話は歌詞(言葉)に対応しているので、わりとすっと頭に入り、手話に関心が持てた。
- 6 成果・課題
 - ・手話が、自分とかけ離れた世界のものではなく、身近に感じることができるようになった。おそらく音楽の授業でしか体験できていないのが課題。授業以外にも、どのような場面で手話をする(見る)場面があるかの調べ学習をすると、より一層手話に対する興味関心が深まりそうだと感じている。
- 7 手話の取組強化月間以外の取組
 - 聴覚障害者協会から講師と手話通訳を招き、「手話・聴覚障害への理解」をテーマに人権教育研修会を実施した。手話や聴覚障害について基礎から学ぶことで生徒理解に繋がった。職員の感想は次の通り。
 - ・手話は難しそうというイメージがあったが、少し身近に感じられた。
 - ・聴覚障害のある生徒たちへどのような関わり方や支援が必要なのかを学ぶことができた。
 - ・大リーガーの話や、野球の手話の話は授業で取り入れたい。
 - ・一見見えない障がいだからこそ、相手は「聞こえないかもしれない」という理解をいつも心にとめておくことが大事だと感じた。

授業
3

川和高等学校 コミュニケーション英語Ⅱ

- 1 実施回数 各クラス1回ずつ計2回
- 2 対象者 2年2, 3組の生徒
- 3 実施者 藤塚大輔（英語科教諭）
- 4 実施内容
 - ・話し言葉と手話の違いについて、ペアワークで議論させた。※観点：コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- 5 生徒の感想等
 - ・概念などをどう手話で表すかが難しそうだという議論が多く、自分たちが普段行っている身振り、手振りが手話に通じていることに気付く生徒もいた。
- 6 成果・課題
 - ・議論に慣れているクラスだったので、スムーズに議論できた。話し言葉であれ、手話であれ、言葉の難しさについて生徒が考えるよいきっかけになったと思う。ただ、手話教育という観点から捉えた場合、この議論をいかに手話の実践に結び付けるかが課題であると思う。

授業
4

上矢部高等学校 体育

- 1 実施回数 1回
- 2 対象者 1学年
- 3 実施者 坂元裕貴（保健体育科教諭）
- 4 実施内容
 - ・オリンピックやパラリンピックで行われる競技種目のいくつかを、実施者が手話で実演した。（知識・理解）
 - ・クイズ形式でどの種目のものが生徒に答えさせた。（関心・意欲・態度）
- 5 生徒の感想等
 - ・今まで手話を見たことがなかったので、表現方法が独特だと思った。
 - ・実際の種目と手話の動作が結びつかないものもあり、難しかった。
- 6 成果・課題
 - ・手話とパラリンピックをうまく関連させて授業を行うことは効果的であった。
 - ・継続して行わないと、生徒の印象には残りづらいので、年間指導計画に位置付けて行うことを検討する必要がある。

授業

5

横浜緑園高等学校 手話 I

- 1 **実施回数** 40回
- 2 **対象者** 「手話 I」を履修している生徒
- 3 **実施者** 前田房代（福祉科講師）
- 4 **実施内容**

聴覚障がい者への理解や手話についての座学を含め、単語や都道府県名、指文字、数字などの手話表現の読み取りや実践を行う。11月に校内で実施予定の「手話技能検定4級」「手話技能検定5級」の資格試験で成果をはかる。

評価の観点は、

 - (1) 関心をもって授業に臨み、積極的に取り組むことができたか。
 - (2) 聴覚障害への関わりについて積極的に考えることができたか。
 - (3) 手話による表現、発表、会話ができるようになったか。
 - (4) 聴覚障害、手話に関する基礎的な知識を習得し、聴覚障害について理解することができたか。
- 5 **生徒の感想等**
 - ・最初は指を動かしたり表現を読みとったりするのが難しく、覚えるのに苦労した。
- 6 **成果・課題**
 - ・ゲストティーチャーの聴覚障がい者と、それまで学習してきた手話で実際に会話することで、伝わる、伝える喜びを得ることができた。
- 7 **手話の取組強化月間以外の取組**
 - 4月 入学式で生徒が同時通訳をする。
 - 10月、11月の学校説明会で生徒が手話で説明をする。
 - 12月 生徒が講師役をし、職員向けに講習会を行う。

授業

6

藤沢総合高等学校 授業開始時及び終了時

- 1 **実施回数** 1日当たり約100回、延べ約1,500回
- 2 **対象者** 全校生徒
- 3 **実施者** 全職員・生徒
- 4 **実施内容**

手話強化月間の5月は、毎日の朝の打合せで教頭が職員全体に手話での挨拶をするなど職員に対して手話への理解を深める活動をした。職員は、HRでの挨拶と全ての授業において生徒に対し授業開始及び終了時に手話で挨拶をする活動を行った。）
- 5 **生徒の感想等**

2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは藤沢市も会場となるので、障がいを持たれた方と接する機会も増えると思う。また、聴覚障がいを持たれた方たちのデフリンピックなどの存在も知ったのもっと手話の知識を身に付けボランティア活動などにも挑戦したい。
- 6 **成果・課題**

生徒・職員の意識向上を図ることができた。「福祉」の授業を選択していない生徒においても積極的に手話を使い挨拶をし、また、生徒自身で表現を調べたりする姿勢を見ることができた。今後も手話への理解を深める活動を検討したい。
- 7 **手話の取組強化月間以外の取組（通年）**

教科「福祉」において、手話の表現方法や読み取り、指文字などについて学習することを年間目標とした「手話実習」を設置している。また、本校独自の手話週間を位置づけ、授業開始及び終了時に、手話を使って職員と生徒が挨拶を交わす活動を行い、手話への理解を深める働きかけをしたい。

- 1 実施回数 3回
- 2 対象者 生活と福祉選択者（定時制3、4年次）
- 3 実施者 白石 朱音（家庭科教諭）
- 4 実施内容
 - ・声を出さずに好きなものを相手に伝える方法について考えさせた。（思考・判断・表現）
 - ・「わかりあえる明日のために」ろう教育、ろう生活のビデオ鑑賞をさせ、感想を書かせた。（関心・意欲・態度）
 - ・手話にて簡単なあいさつ、自己紹介をさせた。（技能）
 - ・生徒が調べた手話で、ゲストに招いた教員に話しかけ、どのような手話か教員が当てるクイズを行った。（思考・判断・表現）
- 5 生徒の感想等
 - ・手話をやっている人を見て、難しそうだと思っていたが、実際にやってみると意外と覚えやすいと思った。
 - ・会話する手段が言葉だけでなく手を使ってできることが改めて分かった。
 - ・手話は覚えて損はないと思った。
- 6 成果・課題

生徒が手話を自ら調べ、グループで話し合っ手話を決め、教員に話しかけることで手話を身近に感じることはできたのではないかと考えた。今後は3、4年次だけでなく、全校生徒に対しても、手話を身近に感じさせる機会を作りたい。

▼この手話の意味がわかりますか？



授業

8

相模原総合高等学校 学校設定科目「手話」

- 1 実施回数 4回
- 2 対象者 2、3学年
- 3 実施者 非常勤講師、本校教員
- 4 実施内容

全日本ろうあ連盟「聴さんと学ぼう！」を活用して、4月から7月までは名前、家族等手話の基礎から自己紹介ができることを到達目標に、9月から11月は趣味や買い物、病気などの生活を表現する手話を学ぶ。1月からは、ろう者の生活や災害時に必要な手話を学ぶ。6月と12月には実際にろうの方に来校いただき手話の実際を学ぶ。11月には通訳介助の方により、盲ろう者について学ぶ機会を設ける。ろう者の手話に慣れるためにDVDの活用、また、折に触れて手話を使った歌やゲームなどで知識、技能の定着を図っている。関心・意欲・態度 関心を持って授業に臨み、積極的に取り組むことができたか。思考・判断・表現 聴覚障害への関わりについて積極的に考えることができたか。資料活用の技能 手話による表現、発表、会話ができるようになったか。知識・理解 聴覚障害、手話に関する基礎的な知識を習得し、聴覚障害について理解することができたか。

5 生徒の感想等

聴覚障害者と手話でコミュニケーションができてたいへんよかった。手話を正確に使うこととともに伝えたいという気持ちも大変重要であることがわかった。

6 成果・課題

実体験を通して、障害者理解が深まり、自己のあり方について振り返るよい機会を得ることができた。

授業

9

綾瀬西高等学校 コミュニケーション技術

- 1 実施回数 1回
- 2 対象者 2年生(57名)
- 3 実施者 綾瀬市聴覚障害者協会 会員3名
- 4 実施内容

いままで学習した内容を活用し、手話を母語とし生活している方との交流を図る。
評価の観点：関心・意欲・態度

5 生徒の感想等

- ・いつもと雰囲気の違い、普段の授業ではわかりやすく表現してくれていることがわかった。
- ・初対面の方との会話だと緊張のせいか、わからなくなってしまい、難しく感じる。
- ・授業でならっていた成果を感じることができた。

6 成果・課題

手話を母語としている方との関わりを増やすことで、自分自身のできること、できないことを再確認できた。

7 手話の取組強化月間以外の取組(7月31日)

教員向け手話講習会(あいさつ、自己紹介等)

特別活動

1

川崎北高等学校 体育祭

1 実施回数 1回

2 対象者 全校生徒 1018名

3 実施者 活動支援グループ

4 実施内容

体育祭において、4つのブロックの団長が手話による選手宣誓、自己紹介、主な挨拶を披露した。全校生徒とともに手話にチャレンジした。

5 生徒の感想等

ことばを発しなくても、手を使ってコミュニケーションを取ることができることを知った。他の手話も覚えて会話できるようになりたいと思った。また、皆と一緒に手話をやってくれて、うれしかった。

6 成果・課題

(成果) 団長が練習の成果を披露し、それを他の生徒が習い、一緒にやってみることで気軽に手話に触れることができた。

(課題) より身近なものとするための継続的な取組を検討することが課題である。

▼開会式での手話挨拶



特別活動

2

小田原城北工業高等学校 校門あいさつ運動

- 1 実施回数 3回
- 2 対象者 全校生徒
- 3 実施者 生徒会本部役員（全日制）
- 4 実施内容
生徒会本部役員が校門前に立ち、登校してくる全校生徒に対して「おはようございます」と手話であいさつを行った。特に新入生に対して親しみやすい雰囲気醸成することを目的とした。
- 5 生徒の感想等
最初は生徒会本部役員の生徒は恥ずかしがっていたが、慣れてくるにつれ積極的に手話であいさつをするようになった。また、それを受けた生徒もまばらではあったが、手話であいさつを返してくれる場面もあった。
- 6 成果・課題
なかなか定着を図るのが難しいが、地道に取り入れていきたい。

▼皆さん！おはようございます。



特別活動

3

麻溝台高等学校 体育祭、ホームルーム活動

- 1 実施回数 2回以上
- 2 対象者 全学年
- 3 実施者 教職員、生徒
- 4 実施内容
 - ・体育祭の開会式で、教職員と保健委員で競技中の水分補給に心掛けるよう、手話で伝える。
 - ・図書室に手話コーナーを設け、誰もが手話について学べるようにした。
 - ・手話による挨拶等を表記したプリントを各教室に掲示し、担任から手話について伝えた。
- 5 生徒の感想等
 - ・普段自分たちが使わないコミュニケーション方法を知ることによって、話すことのできない人の感性を知ることができたのでやって良かった。
 - ・保健委員での活動がなかったら、手話に触れる機会がなかったなので、触れられて良かったです。
 - ・人生でなかなか手話をする事ができないので、この機会にすることができてとても良かったです。これからも使いたいです。
 - ・手話をやる機会なんて今までなかったからみんなの前でやれて、一緒にやってくれて良かったなと思いました。他の手話も知りたいと思いました。
- 6 成果・課題
 - ・実際に手話を使うことで、生徒は手話についてもっと知りたいと思うようになった。その一方、教員側に手話を指導するうえでのノウハウが十分でないことが課題である。
- 7 手話の取組強化月間以外の取組（不定期）
全校集会等で手話による挨拶に取り組む。

- 1 実施回数 5月30日(木) 1回
- 2 対象者 本校手話部と横浜市立ろう特別支援学校高等部
- 3 実施者 本校手話部
- 4 実施内容 横浜市立ろう特別支援学校高等部との交流会
 - ・本校の生徒が手話での学校紹介を行う。
 - ・本校生徒が手話で歌を披露
 - ・ろう特別支援学校の生徒による手話での学校紹介を受ける。
 - ・輪になって手話でお互い交流をする。
- 5 生徒の感想等
 - ・楽しかった
 - ・めったにないことで良かった
 - ・面白かった
- 6 成果・課題

手話をきちんと覚えることはもちろん大事だが、コミュニケーションには、笑顔や手話の動かすスピードなどで感情を表現することも重要であることを学んだ。
- 7 手話の取組強化月間以外の取組

(6月13日)
本校教職員による、本校教職員対象の手話教室を実施
(挨拶やYES,NOなどの基本の手話を学習した)

(7月18日)
手話部の生徒たちを講師に招き、教職員を対象に手話による歌を覚える講習を実施した。
「大きな栗の木の下で」を手話を使って歌った。

▼交流会の様子



本校の生徒による手話での学校紹介



手話で歌を披露, 全員1年生です!



高等部の生徒による手話での学校紹介



輪になって手話で交流会

部活動

2

藤沢西高等学校 コーラス部・ボランティア部

- 1 **実施回数** 2～3回／毎年
- 2 **対象者** コーラス部・ボランティア部の生徒
- 3 **実施者** コーラス部・ボランティア部
- 4 **実施内容** 地域（湘南大庭地区青少年育成協力会）主催「春一番の音楽会」等
地域住民対象の音楽イベントに、本校の該当部活動の生徒が出演し、日頃の部活動で身に付けた手話で歌詞を表現するなど、手話の習得と地域住民への普及活動を行った。
- 5 **生徒の感想等**
毎年開催される演奏会で、地域住民の皆さんがとても喜んでくれます。この機会に手話の勉強もできて、小さな子どもたちにも手話に興味を持ってもらえることでやりがいがあります。今後も後輩に引き継ぎながら活動を続けていきたいです。
- 6 **成果・課題**
地域住民に歓迎され定着している活動だが、今後は校内の活動としての充実も視野に入れて活動の輪を広げていくことも考えたい。

- 1 実施回数 5月～7月
- 2 対象者 全校生徒
- 3 実施者 学校司書
- 4 実施内容

学校司書及び生徒会図書委員会生徒が協働し、図書館の一角（言語コーナー）に手話コーナーを設置して、手話に対する興味・関心の醸成を図っている。

- 5 生徒の感想等

手話コーナーを設置し、手話に関する書籍配架や情報を提供していたが、特に体育祭の校長挨拶において全校生徒に対する手話での挨拶を行ったことにより、今まで関心がなかった生徒が閲覧し、興味を持つようになった。また、図書委員会の生徒が中心となり設置したことで広がりをもつことができた。

- 6 成果・課題

手話に限らず、インクルーシブ、ダイバーシティの視点から、生徒の意識を高めたり認識を持たせるための様々な情報提供を行っていきたい。

▼手話で世界を広げよう！



- 1 実施回数 1回
- 2 対象者 図書館委員の生徒 10名
- 3 実施者 図書館委員会担当の司書
- 4 実施内容

聴覚障害に関連した本を中心に、その他ハンディキャップに関する本を、特設コーナーに展示し、生徒の関心を喚起した。いくつかの本に関しては、図書館委員の生徒が、本を紹介するポップを作成し、それを添えて紹介した。
- 5 生徒の感想等

点字の絵本や手話辞典等、普段目にしていない書籍について、図書館に来館した生徒たちは、「こんな本もあるんですねー。」と驚いた様子であった。
- 6 成果・課題

関連した書籍を特設コーナーに展示して、ポップなどで紹介した結果、利用者の興味関心を引き、関連書籍の貸し出しにつなげることができた。

▼ポップで紹介！ 聴覚障害をテーマにした本



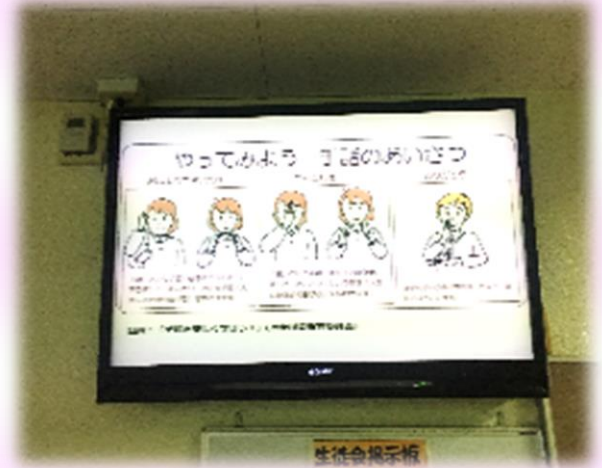
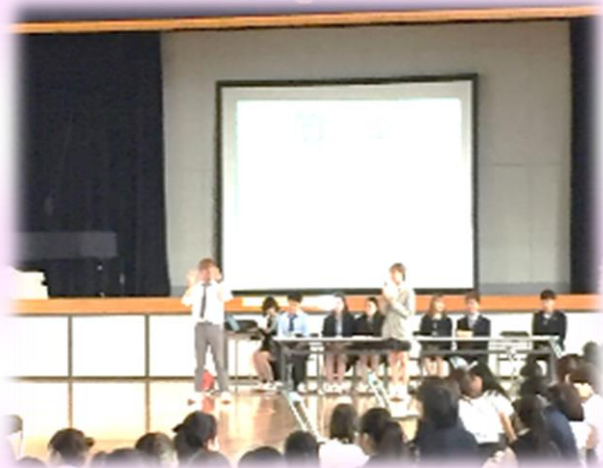
その他

1

横浜国際高等学校 連絡電子掲示板等

- 1 実施回数 電子掲示板 22 回
- 2 対象者 全職員及び全校生徒
- 3 実施者 管理職、生徒会担当職員及び生徒
- 4 実施内容
 - ・教職員の朝の打合せ時の冒頭の挨拶、手話の紹介
 - ・生徒会長による手話のデモンストレーション及びスライドによる手話の紹介
 - ・生徒連絡電子掲示板による手話の紹介
- 5 生徒の感想等
言語と同じように、国によって手話が違うことを理解できた。
- 6 成果・課題
手話の挨拶をはじめ、アメリカ手話との比較、イギリス手話とアメリカ手話、国際手話など、電子掲示板で、毎日話題を更新して紹介することで生徒の関心を高めることができた。

▼手話の輪を広げよう！



- 1 実施回数 1回
- 2 対象者 福祉委員全員・生徒希望者、全校生徒
- 3 実施者 教員・生徒・教育実習生
- 4 実施内容
 - ・導入として手話に関する基礎的な知識を学ぶ。
 - ・挨拶に関する基礎表現を学び、近くの人と手話で挨拶をする。
 - ・名字の表現方法、山など形からの表現、固有の表現がある名字、指文字等からの表現等を学ぶ。
 - ・好き嫌いの表現から趣味、色、季節などを加えた自己紹介について手話で表現する。以上、今年度は講師の柳田先生から、伝言ゲームやジェスチャーゲームを含まない純粋な手話に関する講習会を行った。
- 5 生徒の感想等
 - ・今年は急がずに手話に関する基礎的な内容だけを取り扱ったため、ゲーム感覚で行える内容は含まないが、要点を絞ったことで生徒にも取り組みやすかったのではないと思われる。
- 6 成果・課題
 - (成果) 前年参加生徒が毎年手話講座を行っているため、初めての生徒に対して教えている光景もあり、継続している成果が感じとれた。
 - (課題) 今年は実施日がなかなか決まらず、生徒への周知が出来なかった。生徒の参加は昨年以上であったが、今後は、さらに多くの生徒が参加できるように、学校行事などでの実施も考え、生徒への周知の時期や実施回数を検討し、充実した講座開催を目指す。

▼「手話で繋がる喜びを体験しました！」



発 行 令和2年11月30日
編 集 者 神奈川県教育委員会教育局指導部
 高校教育課長 増田 年克
発 行 者 神奈川県教育委員会
 〒231-8509 横浜市中区日本大通33
 TEL (045)210-1111 内線8260